



**資源を無駄にしない循環型農業を実現  
ドローンを活用し収穫量を予測する実証実験も開始**  
グロワー オブ サラダ クラブ  
**岡山県「青空」を「Grower of Salad Club 2022」で「最優秀賞」として表彰**

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：金子俊浩、本社：東京都調布市）は、契約産地<sup>※1</sup>を表彰する「Grower of Salad Club 2022（グロワー・オブ・サラダクラブ 2022）」にて、全国約400の契約産地の中から、「青空」（岡山県岡山市）を「最優秀賞」として表彰しました。

※1 サラダクラブでは、生産者との顔が見える関係を基本に、「契約取引」で原料を調達しています。現在、全国に約400の契約産地があり、常に安定した調達ができるよう取り組んでいます。

「Grower of Salad Club」は、日頃お世話になっている生産者のかたへ、感謝の想いを伝えることを目的に、2017年から毎年実施しています。第6回目となる今回は、8産地を「最優秀賞」、17産地を「優秀賞」、4産地を「特別賞」として表彰しました。

「青空」は、サラダクラブの契約産地として、長年レタスを供給いただいています。今回の「Grower of Salad Club」では、「野菜廃棄物ゼロ化」を目指す当社の循環型農業構築への貢献などを高く評価し、最優秀賞として表彰を行いました。具体的には、当社の真庭工場に出た食料残渣を工場ですべて一次発酵させ、さらに他の物と合わせて堆肥にし、その堆肥を「青空」の圃場に投入してレタスを育て、収穫したレタスを真庭工場に納品していただくという資源を無駄にしない循環型農業です。

サラダクラブは、今後も商品の品質向上に努めるとともに、産地との密なコミュニケーションを活かした独自の商品開発など、お客さまにとって魅力ある商品づくりに努めてまいります。

■ 「青空」（岡山県岡山市）について <http://www.okayama-bluesky.com/>

「言い訳を言わない、計画通り出来る事は必ずやる」をモットーに豊作の為に計画して実行し、検証と改善を繰り返す農業のPDCAサイクルを実行しています。また昨年からは、NTT西日本と愛媛大学とともに、ドローン空撮画像解析（アルゴリズム、AI）で野菜の生育状況を見える化し、農作物生産をコントロールする共同実験を開始、将来的には収穫3週間前の収量予測を目指されています。また、ハウス栽培での自動灌水装置と環境制御装置を設置して、データをクラウドに蓄積してレタスにとってよい環境で灌水を行っています。さらに契約栽培で余ったレタスを外食店に配ることで、外食産業への協力も実施されています。



### 【産地からのコメント】（青空株式会社 代表取締役 石原 大介様より）

産地の努力を評価して頂けるこの賞は生産者として目標でもあり誇りの持てる賞です。「品質が良い、品質が悪い」だけでなく、改善点を共に研究や情報共有して頂けるサラダクラブ様やサプライヤー様に感謝しています。共に歩んで頂けるビジネスこそが産地育成だと思っています。契約栽培という約束を守っていただける事が絆であり、我々生産者の安定的な生活にも繋がっています。それにどう応えていくのかが我々生産者の役目です。更にこの賞を受賞されている先輩方が目標であり、憧れの生産者です。この賞に恥じる事無く日々精進して参ります。最後になりましたが素晴らしい賞を頂き誠に有難う御座います。



### ■「Grower of Salad Club 2022」について

「Grower of Salad Club 2022」では、主要原料を対象品目とし、2021年度（2020年12月～2021年11月）の期間中、評価点<sup>※2</sup>が最も高かった8産地を「最優秀賞」、次に得点が高かった17産地を「優秀賞」に選定しました。「特別賞」には循環型農業の構築に貢献いただいた産地や相場高騰時に貢献いただいた産地を選定しました。この受賞結果は、当社の商品に使用されている野菜の産地、生産者がわかる「サラダクラブ産地検索」アプリでも見ることができます。



#### ※2 評価点について

サラダクラブでは主要原料（キャベツ、レタス、ロメインレタス、サニーレタス、グリーンリーフレタス）を工場で使用する際、工場や人によって評価にブレがないよう、野菜毎に明確な評価基準<sup>※3</sup>を設けて品位の評価をしています。

※3 例えば、レタスでは、「サイズ」「外葉」「巻き」「褐変・蕩け」「内部異常」「病虫害」の6項目で評価。

### ■「サラダクラブ産地検索」アプリ概要

サラダクラブの商品に使用されている野菜の産地、生産者がわかるアプリです。食の「安全・安心」への関心が一層高まる中、産地情報を開示することで、より安心してパッケージサラダを利用していただきたいという想いから、2016年3月よりパッケージサラダ（カット野菜）業界で初となるスマートフォン用アプリとして提供しています。

#### <「サラダクラブ産地検索」アプリ概要>

対応端末 : iPhone (iOS8.1以降) /Android (Android4.0以降)  
価格 : 無料  
ダウンロード : [http://saladclub.jp/special/sanchi\\_appli/](http://saladclub.jp/special/sanchi_appli/)  
App Store・Google Play から「サラダクラブ産地検索」で検索または、右記2次元コードからアクセス



2次元コード

### ■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により1999年に設立しました。利便性と価格が一定という経済性が評価され需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア(金額)\*を占め、販売店舗数は16,838店(2021年11月現在)となっています。

\* マクロミル QPR (サラダメーカー別 2020年12月-2021年11月)

## ■サステナビリティへの取り組み

当社では、産地からご家庭までのフードロスを低減し、サステナビリティへの取り組みを推進しています。産地との安定的な取引や増量企画を通じた、持続的な生産体制の維持や産地廃棄の削減。工場内で発生した野菜の未利用部を堆肥の材料にし、それをもとに作られた堆肥を使用して野菜の栽培を行う循環型農業の実現。パッケージサラダの鮮度保持延長の実現により、ご家庭・販売店での消費期限切れに伴う廃棄の低減などの取り組みを行っています\*。

\* 詳細はサステナビリティページ (<https://www.saladclub.jp/company/sustainability/>) をご参照ください。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 広報・広告宣伝部 吉田・小宮・鳥塚・伊豆野

TEL. 03-5384-7690 (直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町 2-5-7

<https://www.saladclub.jp> E-mail. [info@saladclub.jp](mailto:info@saladclub.jp)

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-662-831